

滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

- ①建屋内滞留水水位及び貯蔵量
- ・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足
 - ・処理装置(第二セシウム吸着装置)は運転中
- ②廃棄物発生量
- ・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし
- ③処理水タンク貯蔵量
- ・淡水化装置(RO方式)による処理により、処理後の淡水受タンク及び濃縮塩水タンク貯蔵量は変動あり
 - ・蒸発濃縮装置は全台停止中
- ④5、6号機滞留水貯蔵量
- ・滞留水移送及び構内散水によりF・Hエリアタンク貯蔵量は変動あり

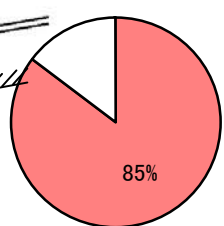
①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約14,000m ³	OP.2,852
2号機	約22,600m ³	OP.3,155
3号機	約24,900m ³	OP.3,209
4号機	約19,500m ³	OP.3,209
合計	約81,000m ³	

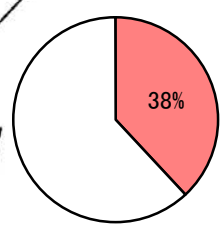
貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約14,050m ³	OP.3,845
高温焼却炉建屋	約4,720m ³	OP.3,325
合計	約18,770m ³	

②廃棄物発生量

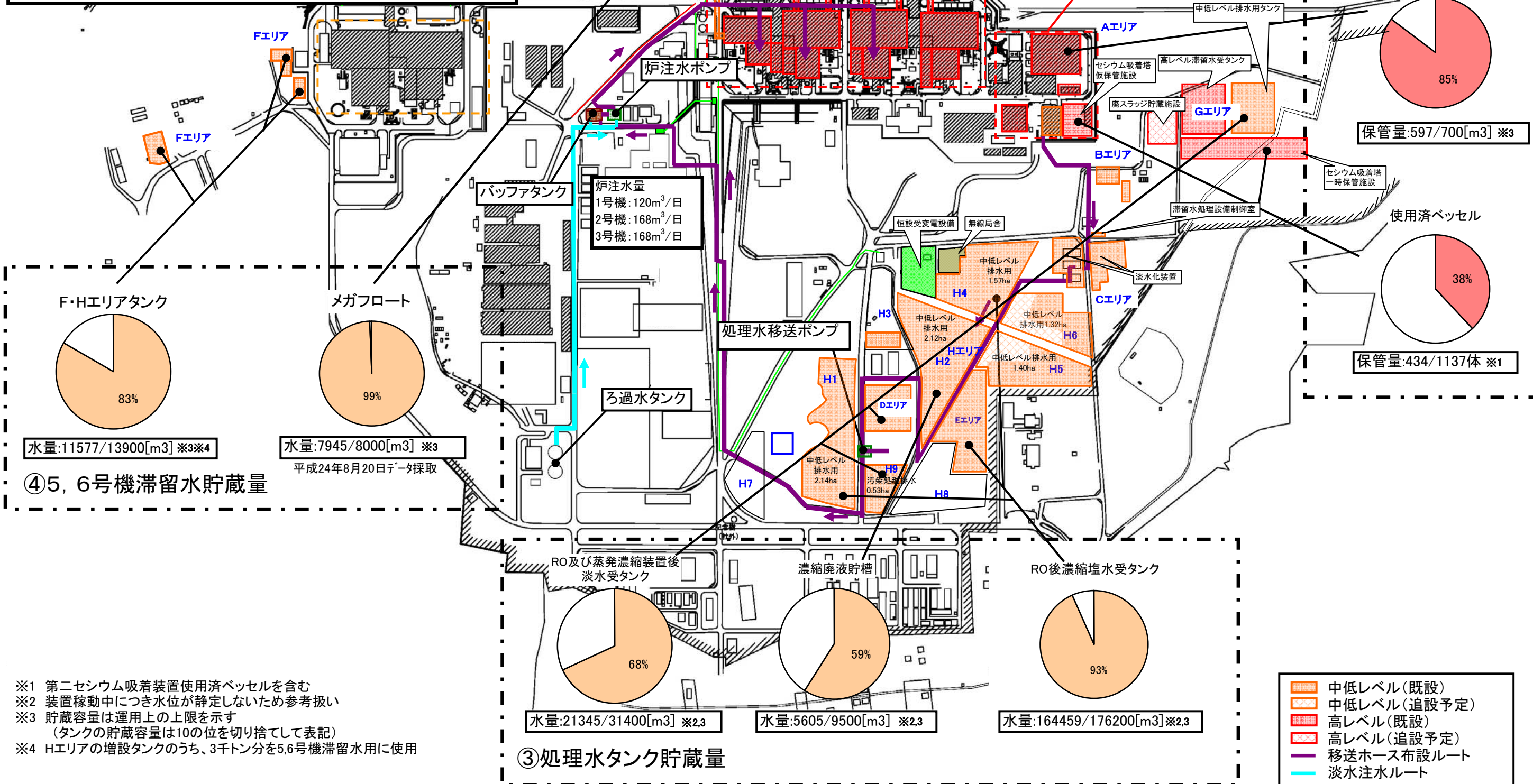
廃スラッジ



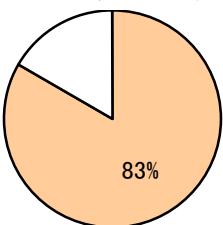
保管量:597/700[m3] ※3



保管量:434/1137体 ※1

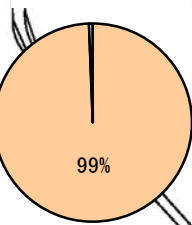


F・Hエリアタンク



水量:11577/13900[m3] ※3※4

メガフロート

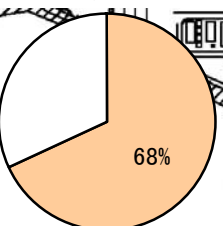


水量:7945/8000[m3] ※3
平成24年8月20日データ採取

炉注水量

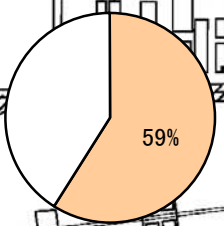
1号機:120m³/日
2号機:168m³/日
3号機:168m³/日

ろ過水タンク



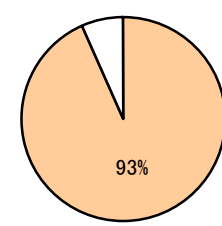
水量:21345/31400[m3] ※2,3

濃縮廃液貯槽



水量:5605/9500[m3] ※2,3

RO後濃縮塩水受タンク

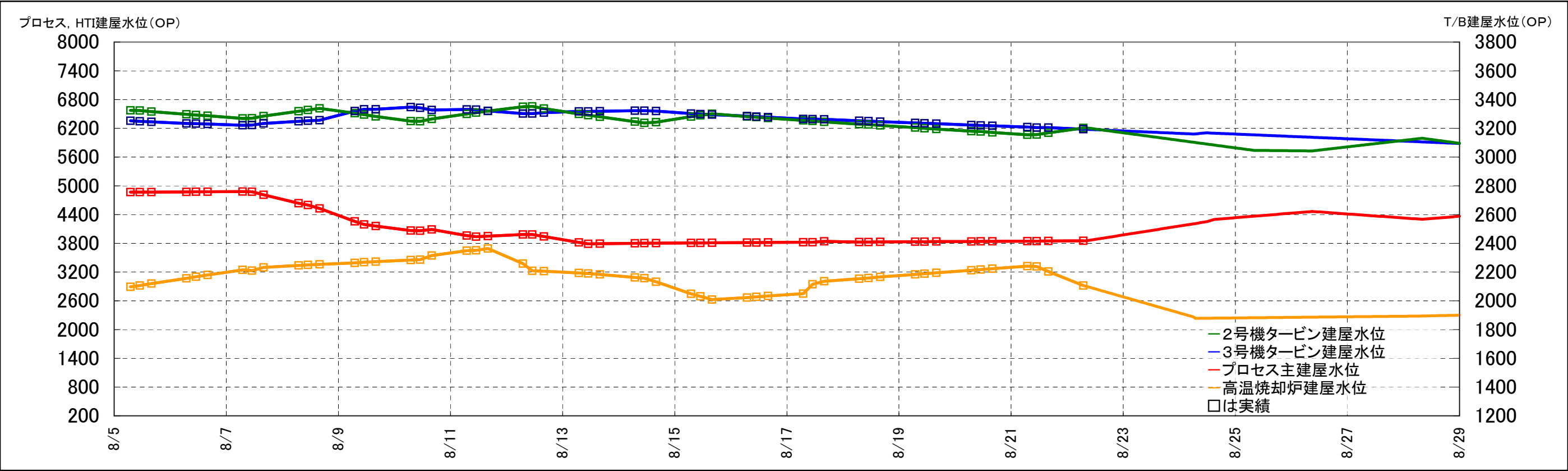


水量:164459/176200[m3] ※2,3

③処理水タンク貯蔵量

※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセルを含む
※2 装置稼働中につき水位が静定しないため参考扱い
※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す
(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てて表記)
※4 Hエリアの増設タンクのうち、3千トン分を5,6号機滞留水用に使用

2, 3号機タービン建屋及びプロセス主建屋, 高温焼却炉建屋の水位グラフ



処理装置の稼働状況

